

(4) 補助金等市民活動を側面的に支援する助成制度

市民活動支援補助金

市民活動団体が行う公益的な事業に対し、市民の自主的かつ主体的なまちづくりの推進を目的に助成を行っています。

《申請要件》

- ①組織的かつ継続的に市民活動を行う市民活動団体である
- ②NPO法別表に掲げる活動に基づく活動を行っている
- ③支援できない事業に該当しない
- ④組織の運営に関する規約又は会則を定めている
(など詳しくは市民文化課へ)



▲審査風景

【補助実績】

(単位:件数)

年度		16	17	18	19	20	21
分野別内訳	まちづくり	8	21	17	13	14	14
	福祉の増進	4	7	4	3	9	5
	社会教育			2	2	1	1
	学術文化芸術振興	3	4	3	4	5	6
	子どもの健全育成	6	6	7	3	2	5
	環境保全	2	7	4	1	3	3
	中間支援				1		
	地域安全	1	2	1		1	1
	国際交流		2	2			1
	平和の推進					1	
	雇用機会拡充						1
合計		24	49	40	27	36	37



【講座】



【花植え】



【植林】

(5) その他施策

市民協働参画研修（パートナーシップ研修会）の実施

市民協働参画推進において、市職員として期待される役割を認識するとともに、具体的方法の1つであるワークショップを実践することによる資質の向上を図り、市民と行政のパートナーシップを推進することを目的に本年度6回目となる研修会を下記のとおり開催しました。

- 研修対象 ・各課所室から主任級以上1名程度（96名）
 ・公募による市民（3名）（総計99名）
- 開催日時 ・平成21年12月22日（火）13：00～17：00
- 開催場所 ・下関商工会館 3階研修室
- 研修概要 （1）プログラム紹介、アイスブレイク等
 （2）住民と行政との協働とは～協働の意義・目的～
 （3）ワークショップの意義についての講義
 （4）ワークショップの実践
- 講師：中山 淑子氏（コミュニケーション技研 代表）



【事業実績】

(単位:人)

年度	内 容		講 師	職 員	市 民	計
16	住民と行政のパートナーシップとは	講 演	早瀬 昇	97	0	97
17	NPOと行政との協働	講 演	松原 明	105	1	106
18	NPOと行政の協働について	講 演	川北秀人	114	10	124
19	NPOと行政の協働について	講 演	川北秀人	93	9	102
20	NPOと行政の協働について	講 演	川北秀人	96	6	102
21	ワークショップの意義・実践	ワークショップ	中山淑子	96	3	99

(5) その他施策

市民活動保険の運営

市民活動中の思わぬ事故により指導者及び参加者等が傷害を被ったり、損害賠償責任を負ったりした場合、保険会社より保険金が支払われます。

対象になる活動

市内に活動の拠点を置き、5名以上の市民により自主的に組織された市民団体等が本来の仕事から離れて自主的に無報酬で行う、継続的、計画的、公益性のあるさまざまな活動が対象になります。ただし、政治、宗教、営利を目的とするものは除きます。

【平成21年度実績】

区分	活動内容	報告件数	請求件数	入院(日)	通院(日)	支払金額(円)
1	自治会等 清掃	9	8	164	155	1,068,930
2	自治会等 その他	7	3	63	16	283,000
3	青少年育成活動	5	4	0	17	34,000
4	社会福祉奉仕活動					
5	スポーツ・レクリエーション活動	13	11	139	160	919,000
6	市主催の市民活動	1	0	0	0	0
7	その他					
	合計	35	26	366	348	2,304,930

【保険金額】

傷害保険(1人あたり)

死亡保険金 500万円

後遺傷害保険金 15万円～500万円

入院保険金 日額3,000円(180日限度)

通院保険金 日額2,000円(90日限度)

※入院・通院保険金は、事故日より合算して180日が限度

賠償責任保険

身体賠償 最高1人6,000万円(1事故3億円)

財物賠償 最高300万円

※1回の事故につき5,000円は免責



(6) ア 市民活動団体等へ委託を行った事業

市民協働参画啓発事業の実施

日時：平成22年3月22日 10:00～14:00

場所：しものせき市民活動センター

市民協働参画について理解を深めるとともに、市民活動を行う上での課題を解決することを目的に、市民との協働による市民向け研修「協働わいわいワークショップ」を開催しました。

当日は、オリエンテーションに始まり、ワークショップで課題に取り組み、ティーパーティで交流を深め、クロストークでゲストを交えて意見交換しました。

【オリエンテーション】

▼写真はレク体操の一場面



【クロストーク】



※クロストークとは、講師や参加者みなさんでお互いの意見交換をすることです。

【ワークショップ】

▼ファシリテーターの進行による意見交換



※ファシリテーターについてはP30参照

▼真剣に議論する様子



【事業実績】

年度	事業名	内容
18	協働わいわいミーティング	講演、交流会
19	協働わいわい研修会「組織力UP講座」	講演
20	協働わいわい研修会「2年後の《未来予想図》を考える」	講演
21	協働わいわいワークショップ	ワークショップ

(6) イ その他市民活動団体と協力して行った事業

ツール・ド・しものせき2009ボランティア活動業務

平成21年10月25日（日）に開催されたサイクリングイベントの大会運営のためのボランティアスタッフを募集したところ、各団体や市職員を始めとして、522名のボランティアスタッフが、全国20都道府県から参加した979人の参加者を支え、大会の成功を推進しました。

【主な活動場所】

1. 下関北運動公園(スタート・ゴール会場)
2. エイドポイント1(室津)
3. エイドポイント2(土井ヶ浜)
4. エイドポイント3(殿居)
5. エイドポイント4(菊川)
6. ミドルエイド(深坂:森の家)
7. フォトポイント(角島)



▲エイドポイント

【主な活動内容】

大きく6つの部会に分け、大会準備及び運営にあたりました。

- ① ロングライド部会
コースの安全管理、自転車さんぽ運営など
- ② バザール部会
バザール会場運営、ゴールチェックなど
- ③ エイドポイント部会
エイドポイント運営など
- ④ パーティー部会
ふれあいパーティー運営、ミドルエイド運営など
- ⑤ 広報部会
会場周辺学校広報、フォトポイント運営など
- ⑥ 申込デスク
参加受付、ゴールアンケート調査など



▲スタート(下関北運動公園)

【ボランティア・参加者実績】 (単位:人)

年度	参加者数	ボランティア数
18	392	346
19	720	386
20	925	488
21	979	522